

令和元年9月24日

学 校 振 興 課

業務改善推進対策について

9月6日付けで、各学校に対し業務改善に係る取組み例を通知した。

(取組み例)

1 教材（プリント）データ等の共有化の促進

授業で使用するプリント（電子データ含む）等の情報を学校内や市町単位で共有することにより、教員（特に若手教員）の教材研究の負担軽減を図る。

2 欠席連絡の簡略化

従来、電話で行っていた欠席連絡を保護者の携帯等から学校へメール送信することにより、朝の業務の煩雑さの解消につなげる。

3 引率業務の簡略化

大会、校外学習時の教員引率業務を簡略化することにより、負担軽減を図る。

例

- ・複数校でバス移動する際、各校1名ではなく、代表1名が引率する。
- ・大会や練習試合等は現地集合、現地解散にする。

4 勤務時間シフト制の導入

1日の勤務時間（7時間45分）は変更せず勤務時間を教職員によって設定することにより、個人の状況に合わせた勤務時間を設定できる。

例

- ・個人の勤務状況より通常（8:00～16:30）と遅番（9:30～18:00）に分ける。

5 その他

下記のことについても、取組みに向けての検討をお願いします。

- ア P T A活動において、内容・回数等を吟味して、学校、保護者ともに負担軽減を図る。
- イ 週案の作成を各自管理として、提出を求めないようにする。
- ウ 登下校指導の回数を削減する。または毎朝の玄関でのあいさつ指導を当番制にする。
- エ 部活動指導を顧問、副顧問で交代制にする。あるいは共同管理体制を構築する。
- オ 研究紀要等をデータ保存形式にして製本しないようにする。
- カ R P A（ロボティック・プロセス・オートメーション）を使って業務改善を図る。

例

- ・各種アンケートをスキャナーで読み取り、紙情報をデータ化して処理する。

(参考) 県としての今後の取組み

○悉皆研修の持ち方

研修の時期、内容を精査し、同時に開催できる研修は統合して実施する。
遠隔システムを活用し、全県から一堂に会する研修回数を削減する。

○福井県学力調査（S A S A）データ処理外部委託

簡易な採点、データ処理を外部委託することで教員の負担軽減につなげる。

○部活動研修会

短時間で効果的な指導法について研修を実施する。